科目名	進路研究演習４　　Career Challenge Navigation 4						
科目担当者	経営学部教員						
単位数	２	配当年次	４年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　演習］					ディプロマポリシーとの関連	(2)(5)
授業の概要	４年次ではキャリアプランに沿った希望進路の実現を図り、今後のキャリアについての考えを深め、実社会で迎えるであろう諸課題に対する心構えとスキルを養う。 テキストの講読を中心に、各章の主題に沿って議論を行い、他者の意見を参考にしながら将来のキャリアや求められるスキルについて考えると同時に、心の準備もすることで、職業生活への円滑な移行に備える。またセミナー等を通じ実社会で求められるソーシャルスキルを養うことで、職場への定着を促進する。						
授業の到達目標	学生の各年次段階に応じたキャリア発達を支援し、自己のキャリアを形成していくために必要な知識・情報、意欲・態度そして能力の育成を目的とする。 具体的な目標としては、 ①　社会観・職業観の醸成、 ②　キャリア設計能力の育成、 ③　職業能力（基礎能力）の養成である。						

授業計画・内容		
	1	講読 1　第 1 章　「人生設計とキャリアデザイン」
	2	講読 2　第 2 章　「社会人になるということ」
	3	講読 3　第 3 章　「前に踏み出す力（1)」―主体性―
	4	講読 4　第 4 章　「前に踏み出す力（2)」―働きかけ力―
	5	講読 5　第 5 章　「前に踏み出す力（3)」―実行力―
	6	講読 6　第 6 章　「考え抜く力（1)」―課題発見力―
	7	講読 7　第 7 章　「考え抜く力（2)」―計画力―
	8	講読 8　第 8 章　「考え抜く力（3)」―創造力―
	9	講読 9　第 9/10 章　「チームで働く力（1）（2)」―発信力/傾聴力―
	10	講読 10　第 11/12 章「チームで働く力（3）（4)」―柔軟性/状況把握力―
	11	労働法制講話
	12	講読 11　第 13/14 章　「チームで働く力（5）（6)」―規律性/ストレスコントロール力―
	13	新社会人セミナー（１）社会人のマナーの基本
	14	新社会人セミナー（２）電話の受け方・初対面の挨拶の実践講読 12
	15	第 15 章　「社会人基礎力強化に向けて」

授業外学修 (事前学修)	教科書の指定された章を事前に読み、考察しておくこと。(通年で 30 時間)
授業外学修 (事後学修)	指示された課題やレポートを作成すること。(通年で 30 間)

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	1.　授業態度（授業への取組姿勢等）(1/2) 毎時の授業に積極的・意欲的に取り組み、キャリア形成の能力を高めたか。	50%	①②③
	2.　提出課題やレポート　等（1/2） 講演等でのレポートやその他課題を通して、社会観・職業観、職業能力を高めたか	50%	①②③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	
参考文献	
その他	